

食のあるべき姿を
追求する

2024年 3月期 第1 四半期 決算説明資料

東証スタンダード市場 | 3175

Copyright © 2023 AP HOLDINGS CO.,LTD. All Rights Reserved.





決算概要

第1四半期 連結業績

- 新型コロナが5類へ移行したことにより人流の回復が見られ、**売上高は前期比131.1%**を達成
- 四半期ベースではコロナ影響を受けた**2020年4月以降最高売上**を達成
- 原価高騰の影響を受け価格改定を実施。固定費、および仕入単価抑制により**営業利益は前期から圧縮**
- 営業利益の前期比較では**国内飲食事業が大幅に増益**するも**外食需要が落ち込む海外事業が減益**
- 行政による協力金・助成金が終了し、**経常利益はマイナスで着地**
- 株主優待の拡充による株価上昇に伴い**新株予約権（ターゲット・イシュー・プログラム）の行使が着実に進捗**

売上高

4,902 百万円 前期比 **131.1%**

国内既存店売上高 前期比 **135.1%**

営業利益

△223 百万円 前期差 +410百万円

経常利益

△193 百万円 前期差 △116百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

△195 百万円 前期差 △117百万円

2. 【連結】損益計算書

(単位：百万円)	23.3月期 1Q	24.3月期 1Q	前期差
	実績	実績	
下段	売上%	売上%	前期比%
売上高	3,740	4,902	+1,162 31.1%
売上総利益	2,349 62.8%	3,167 64.6%	+818 +1.8pt
販売費及び一般管理費	2,983 79.8%	3,390 69.2%	+407 -10.6pt
営業利益	-633 -16.9%	-223 -4.5%	+410 +12.4pt
経常利益	-77 -2.1%	-193 -3.9%	-116 -1.8pt
親会社株主に 帰属する当期純利益	-78 -2.1%	-195 -4.0%	-117 -1.9pt

前期との差異分析

売上高

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、人流の回復、宴会需要の回復が見られ、販売事業では特に既存主要ブランドにおける業績が大きく回復。これに伴い、生産流通事業も流通量が増加し堅調に推移

営業利益

売上の回復に伴い、物流費等の固定費率が軽減されたことや価格改定により仕入原価の比重が下がったことで売上総利益が増加

経常利益

行政からの休業要請及び時短要請に伴う協力金、雇用調整助成金の減少によるもの

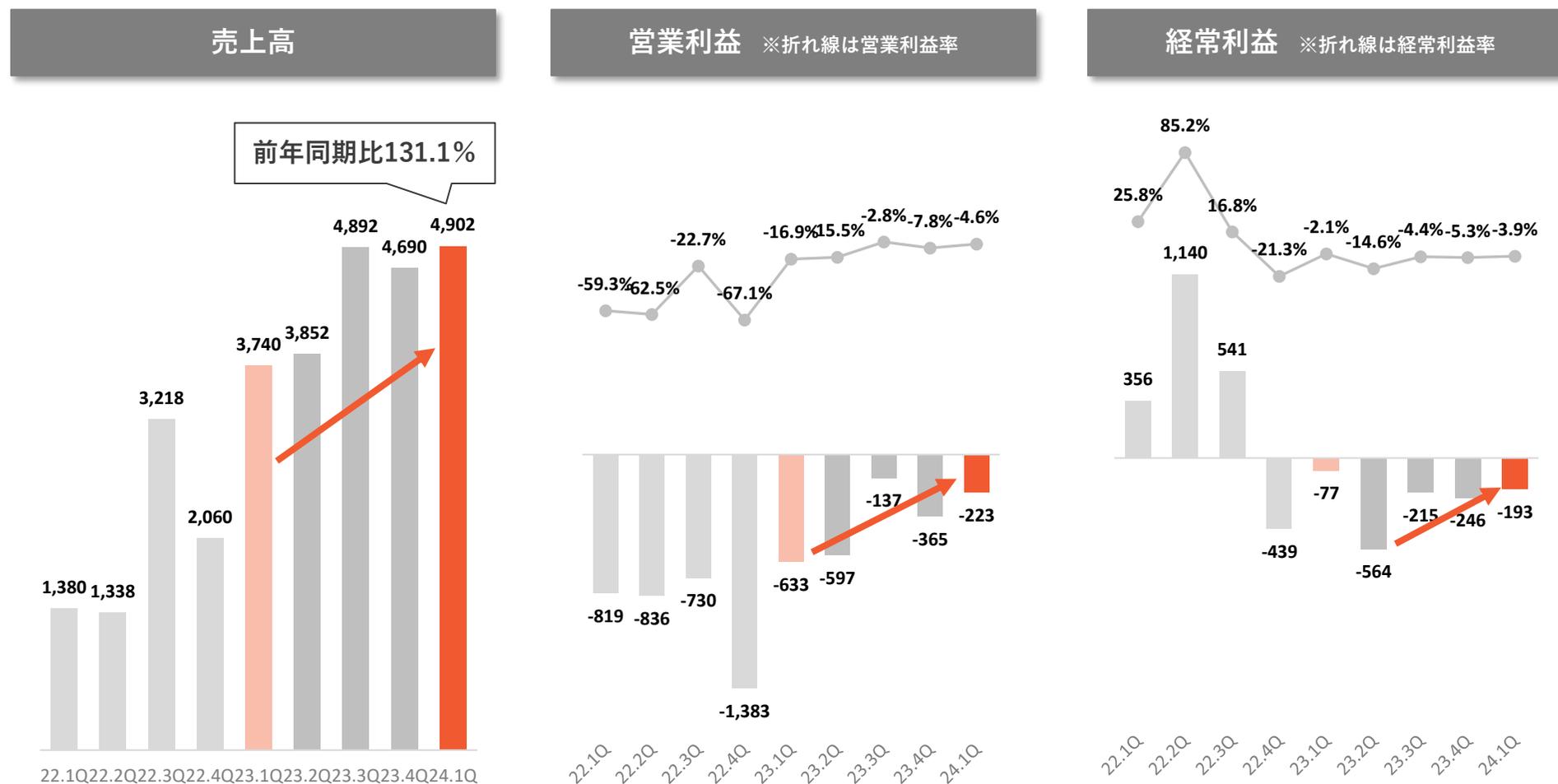
当期純利益

臨時休業による特別損失は解消するも、経常利益の減少により減少

3. 四半期毎の業績推移

四半期としては繁忙期である2023年第3四半期を越え、コロナ影響を受けた2020年4月以降最高売上を達成、また営業利益・経常利益ともに赤字幅が縮小傾向に

四半期毎の売上高・営業利益・経常利益推移 [単位：百万円]



4. 【セグメント】売上高・営業利益分析

(単位：百万円)	23.3月期 1Q	24.3月期 1Q	前期差	
	実績	実績		
売上高	3,740	4,902	+1,162	
販売事業	3,604	4,802	+1,198	
生産流通事業	292	325	+33	
連結調整	-156	-225	-69	
	下段	売上%	売上%	前期比
営業利益	-633	-223	+410	
		-16.9%	-4.5%	+12.4pt
販売事業	-587	-216	+371	
		-16.3%	-4.5%	+11.8pt
生産流通事業	-45	-7	+38	
		-15.4%	-2.2%	+13.2pt

前期との差異分析

販売事業

事業内容

国内外食事業、海外外食事業、中食事業及びデリバリー事業

【国内外食】

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、外食機会の増加や宴会需要が回復したことにより、コロナ禍でも堅調に推移をしていた中高級業態やカジュアル業態に加え、売上高の戻りが遅れていた「塚田農場」「四十八漁場」などの主要ブランドの既存店売上が回復。客単価も全体で前期比105%と堅調に推移

【海外外食】

香港やシンガポール、アメリカなど同国内での外食需要の落ち込みの影響を受けている国が多い中、インドネシアでは、前期に出店した新店を含め、美人鍋業態が好調に推移しており、牽引

【中食】

前期に実施した宅配弁当のラインナップの見直しや販売先の拡大などが奏功、また、関東のターミナル駅に出店している駅ナカ店舗が好調

生産流通事業

事業内容

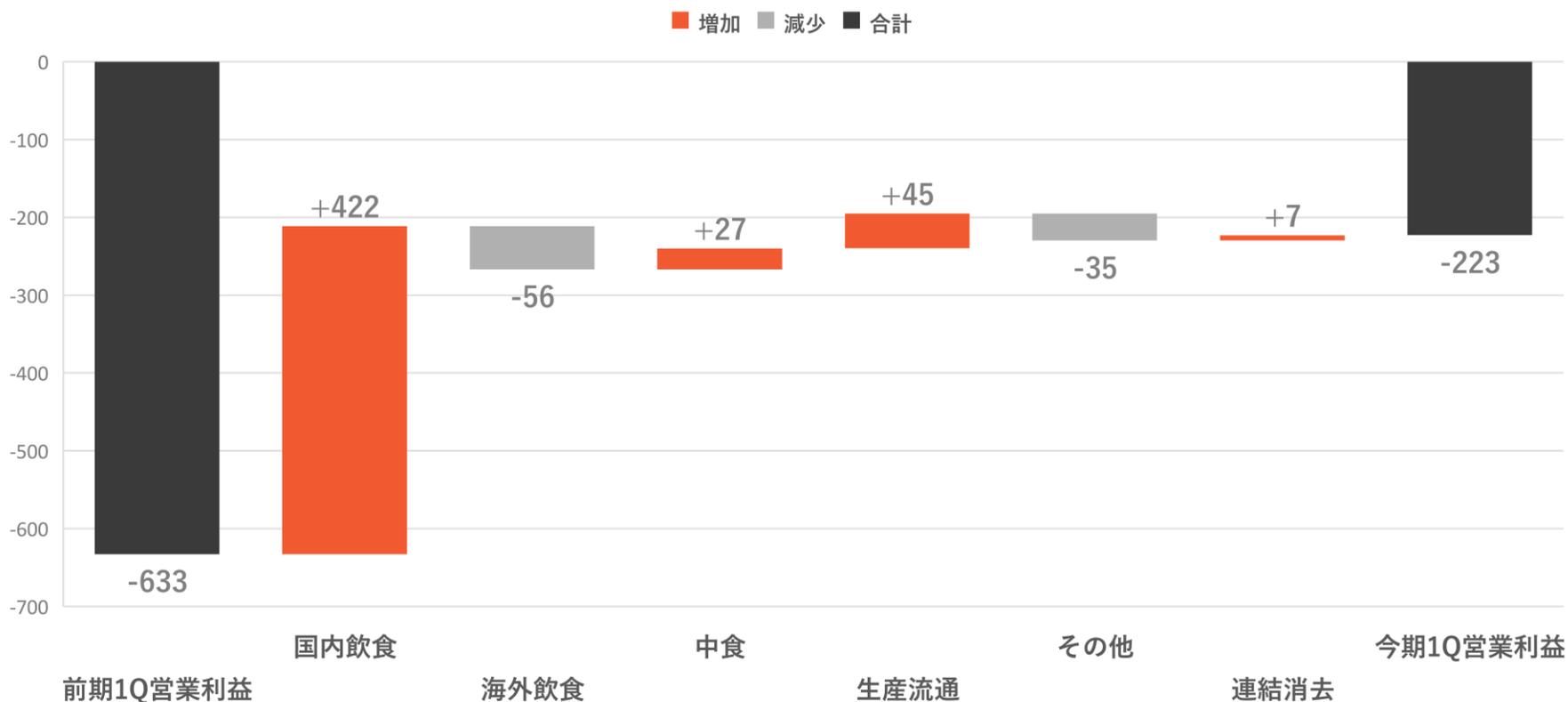
地鶏の生産事業及び、鮮魚・青果物なども含めた流通事業

国内飲食の売上増加により、地鶏の生産や野菜の流通量が上昇。加えて、グループ外への販売も堅調に推移

5. 【事業別】 営業利益差異分析

基幹事業である国内飲食事業が大幅に増益、中食、生産流通事業も伸長
一方、香港を中心に外食需要が落ち込んでいる海外事業は減益

営業利益 前期差異 [単位：百万円]



※連結調整項目は決算数値と異なりますが社内管理ベースでの調整です。

6. 【連結】貸借対照表

(単位：百万円)	23.4Q	24.1Q	前期末差
流動資産	3,823	3,217	-606
（うち現預金）	1,820	1,475	-345
有形固定資産	3,132	3,176	44
無形固定資産	106	101	-5
投資その他資産	2,074	2,041	-33
繰延資産	2	1	-1
資産合計	9,139	8,538	-601
流動負債	4,618	4,218	-400
（うち1年内有利子負債）	2,563	2,489	-74
固定負債	4,402	4,376	-26
（うち1年超有利子負債）	4,261	4,239	-22
負債合計	9,021	8,594	-427
株主資本	49	-158	-207
その他包括利益累計額	-16	11	+27
新株予約権	7	12	5
非支配株主持分	78	77	-1
純資産合計	118	-56	-174
負債・純資産合計	9,139	8,538	-601

前期との差異分析

資産

【流動資産】

借入金の返済、税金等の支払いにより現金及び預金が345百万円減少

【有形固定資産】

業態変更等の設備投資により43百万円増加

負債

既存債務の返済による有利子負債の減少によるもの

純資産

親会社株主に帰属する当期純損失196百万円によるもの

7. 業績予想

2023年5月の決算短信で発表した今期の業績予想についての変更はなし
今期策定した経営方針の推進に最注力していく

2024年3月期の連結業績予想 [単位：百万円]

	第2四半期 (累計)	通期 (累計)
売上高	9,800	21,000
営業利益	26	200
経常利益	4	200
親会社株主に帰属する 当期純利益	—	100

Appendix



株価が上昇局面であるため、目標株価に到達することで行使が可能な新株予約権（ターゲット・イシュー・プログラム）の行使が着実に進捗

2023年5月29日発表

第4回新株予約権（総数5,000個）行使状況（2023年8月10日現在）

行使日・払込日	株式数	行使個数	行使価格	払込金額	残数
2023/6/29	1,000	10	770	770,000	
2023年6月計	1,000	10		770,000	4,990
2023/7/12	8,000	80	770	6,160,000	
2023/7/18	4,000	40	770	3,080,000	
2023/7/19	8,000	80	770	6,160,000	
2023/7/21	10,000	100	770	7,700,000	
2023/7/25	25,000	250	770	19,250,000	
2023/7/28	14,000	140	770	10,780,000	
2023年7月計	69,000	690		53,130,000	4,300
2023/8/2	10,000	100	770	7,700,000	
2023/8/7	30,000	300	770	23,100,000	
2023/8/10	20,000	200	770	15,400,000	
2023年8月計	60,000	600		46,200,000	3,700
累計	130,000	1,300	770	100,100,000	3,700

国内飲食店 対前年同月比推移

全店	2024年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	154.5	139.5	127.8	146.7										141.6
	客数前年比 (%)	149.7	134.0	123.7	142.6										136.9
	客単価前年比 (%)	105.0	105.8	104.5	104.7										105.0
既存店	2024年3月期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
	売上高前年比 (%)	148.8	134.7	123.8	143.8										137.2
	客数前年比 (%)	146.8	131.4	121.7	141.0										134.6
	客単価前年比 (%)	102.9	104.0	102.8	103.8										103.4
	対象店舗数 (店)	141	142	144	149										149

※決算確定前の参考値です。客数・客単価はランチを除いたディナーのみを対象としています。既存店は開店後13か月経過した店舗のみとしています。

店舗数の状況

区分	前期末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国内	塚田業態	84	84	84	84	84							
	魚業態	20	20	20	20	20							
	中高級業態	23	23	23	23	23							
	カジュアル業態	33	33	33	33	33							
	小計	160	160	160	160	160							
海外	19	19	19	19	19								
直営店合計	179	179	179	179	179								

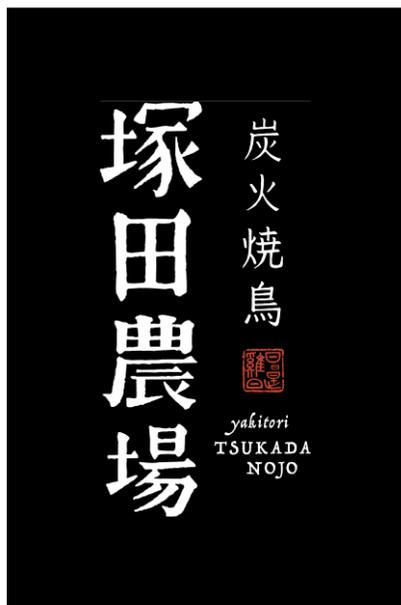
店舗状況	直営店 店舗数 179 店舗	新規出店数 0 店舗	業態変更 2 店舗
------	--------------------------	----------------------	---------------------

※業態変更 ①鹿児島県霧島市 塚田農場 横浜南幸店→炭火烧鳥 塚田農場 横浜南幸店 ②宮崎県日南市 塚田農場 池袋東口本店→炭火烧鳥 塚田農場 池袋東口本店

エリア	業態	店舗数	前期末比	主な展開ブランド
国内	塚田農場	84店舗 (47%)	±0	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県日南市 塚田農場 鹿児島県霧島市 塚田農場 北海道シントク町 塚田農場 炭火烧鳥 塚田農場
	魚	20店舗 (11%)	±0	<ul style="list-style-type: none"> 四十八漁場 なきざかな/なきざかな はなれ 日本橋 墨之栄 鐵の家 SAKE BAR オトナリ 他
	中高級	23店舗 (13%)	±0	<ul style="list-style-type: none"> 地どり屋つかだ 焼鳥つかだ くわんね Na Camo guro ヤオロズクラブ 希鳥 串亭 鮭つぐみ 鮭若尊 焼鳥高澤 他
	カジュアル その他	33店舗 (18%)	±0	<ul style="list-style-type: none"> 芝浦食肉/関根精肉店/平澤精肉店 立ち寿司横丁 やきとりスタンダード 若どり屋 裏の山の木の子 他
海外		19店舗 (11%)	±0	<ul style="list-style-type: none"> 塚田農場美人鍋 Ushidoki 希鳥/とり星 Nojo Ramen 串亭 焼鳥つかだ 他

※2023年7月末時点

炭火焼鳥 塚田農場



“地鶏炭火焼”の塚田農場から“炭火焼鳥”の塚田農場が誕生。

その名のとおり「炭火の焼鳥」をメインにした塚田農場です。

「炭火焼鳥 塚田農場」は、九州の郷土料理がメインの塚田農場から、看板商品の「地鶏の炭火焼」を中心に「焼鳥」に特化した業態です。

ずっと鶏と向き合ってきた塚田農場が、より親しみやすく、多くの方に楽しんでいただける焼鳥に注力し、鶏の美味しさを最大限に引き出すことを追求しています。

鶏に限らず、産地直結の彩りある野菜を使ったサラダや冷凍果実を使ったインパクトあるドリンクも人気メニューのひとつです。

20代を中心にSNS経由でのファンも増えてきています。

炭火焼鳥 塚田農場公式サイトURL：<https://lp.tsukadanojo.jp/yakitori/>

店舗一覧：新宿東口/新宿東南口/赤羽/大宮東口/多摩センター/横浜南幸/池袋東口

(2023年8月現在)



【ご注意事項】

本資料に記載された株式会社エー・ピーホールディングスの計画、予想、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、資料作成時点において入手可能な情報及び株式会社エー・ピーホールディングスの経営者の判断に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。実際の業績は、経済動向、市場環境等によりこれらの計画、予想数値と大きく異なる場合がございます。

内容の正確さについては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りによって生じた障害等に関しまして、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

また、本資料は株主、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

【お問い合わせ先】

株式会社エー・ピーホールディングス 経営企画・IR室 佐藤・野澤 / 管理本部 加藤

TEL:03-6435-8440 / FAX:03-6435-8441

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-10-1 ISOビル5F